

気仙沼土木復旧・復興だより

第12号

平成27年2月1日発行 宮城県気仙沼土木事務所



龍の松（岩井崎）

◆ 災害復旧事業の進捗状況

- 災害復旧事業の着手率は、昨年12月末現在で、箇所ベースで約92%、金額ベースで約71%となっています。
- 道路・橋梁施設については、国道346号道路情報標示板(気仙沼市本吉町)の復旧工事の完成など全箇所の約76%が完了するとともに、新たに県道気仙沼唐桑線面瀬橋(気仙沼市松崎馬場)に着手しました。
- 河川・海岸施設については、鹿折川(気仙沼市東みなと町)荒谷前地区海岸(気仙沼市唐桑町)館浜地区海岸(南三陸町歌津)などの進捗を図るとともに、新たに面瀬川(気仙沼市松崎馬場)亀山磯草地先海岸(気仙沼市磯草)高井浜大向地先海岸(気仙沼市大向)などの本格復旧に着手しました。
- 今後も、地権者等関係者の皆様の御協力を得ながら、用地買収を進めるとともに本格復旧工事の進捗を図り、復旧を推進していきます。

◎箇所数ベース(平成26年12月末現在) (単位:箇所)

	全体	事業中	着手率	
			うち完了	
道路・橋梁	125	115	95	92.0%
河川・海岸	54	49	2	90.7%
港湾関係	11	10	3	90.9%
合計	190	174	100	91.6%

※事業中には、応急工事、調査設計、用地補償を含む

◎事業費ベース(平成26年12月末現在) (単位:億円)

	全体	事業中	着手率	
			うち完了	
道路・橋梁	93.7	41.8	10.4	44.6%
河川・海岸	1,672.7	1,215.5	1.3	72.7%
港湾関係	110.5	75.0	11.7	67.9%
合計	1,876.9	1,332.3	23.4	71.0%

※事業中には、応急工事、調査設計、用地補償を含む

※全体事業は、現時点の事業費としている



工事が進む災害復旧箇所



荒谷前地区海岸(気仙沼市唐桑町荒谷前地先)



【着手前】



【H27.1月現在】



(国)346号道路情報標示板
(気仙沼市本吉地内)



館浜地区海岸(南三陸町歌津地内)
【H27.1月現在】



鹿折川(気仙沼市東みなと町地内)
【H27.1月現在】



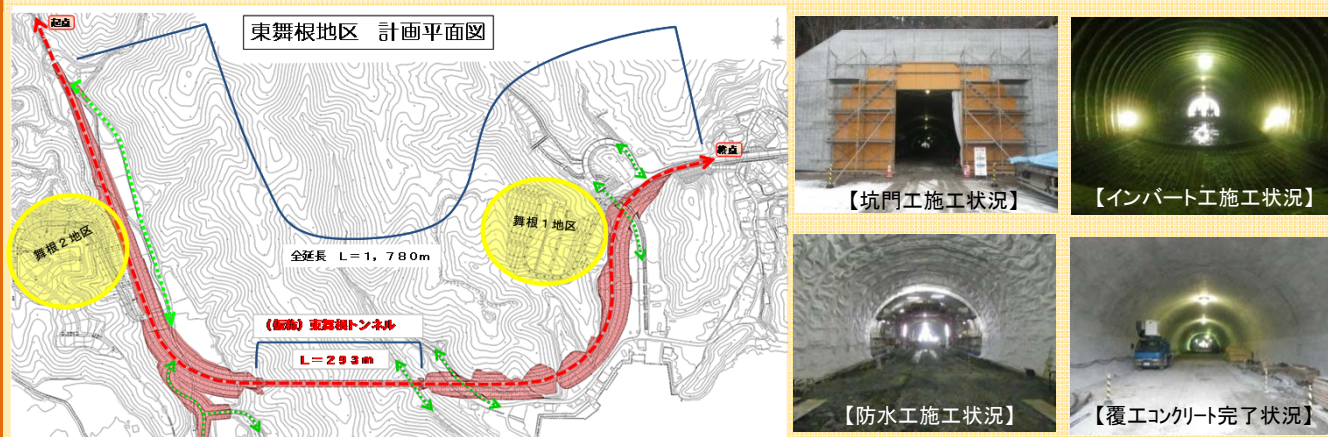
◇ 気仙沼唐桑線「東舞根復興道路工事」がさらに進みました

舞根・浦地区において、2地区の防災集団移転地をアクセスする道路として整備を進めている「東舞根復興道路」について、10月に当初計画より1ヵ月程早くトンネルが貫通し、その後も覆工コンクリート工などの工事を行っています。

工事は、昨年12月末時点で、トンネル全体延長の約3割の86mの覆工コンクリート工、6割を超える150mのインバート工が完了するなど、順調に進捗しています。

また、本年3月末の舞根2地区防集団地の供用にあわせ、起点部において現道からの進入路として、道路の一部を供用するため、今後、施工中の道路改良工事に加え、舗装工事を進めていきます。

今後も、全体工事区間約1.8kmの平成27年度末全線供用を目指し、工事進捗を図っていきます。



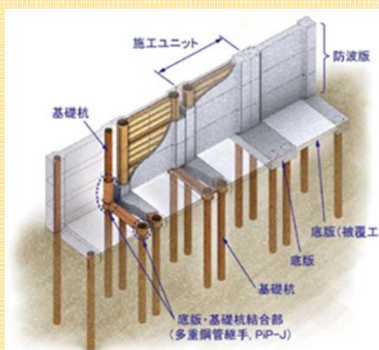
◇ 気仙沼港朝日地区の防潮堤工事で躯体ブロック据付を開始しました

気仙沼港朝日地区において、TP+7.2m(L1津波対応)で計画している防潮堤については、昨年11月上旬から工事を開始していましたが、本年1月からは直壁ブロックの設置を開始しました。これにより、防潮堤の完成形をイメージする事が出来るようになってきました。

また、直壁部にはアクリル製窓を設置する予定としており、早期完成に向け、今後も工事進捗を図っていきます。工事中は、ご不便をお掛けしますが、工事への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



【防潮堤完成イメージ図】



【防潮堤構造模式図】

【直壁ブロック
設置状況図】

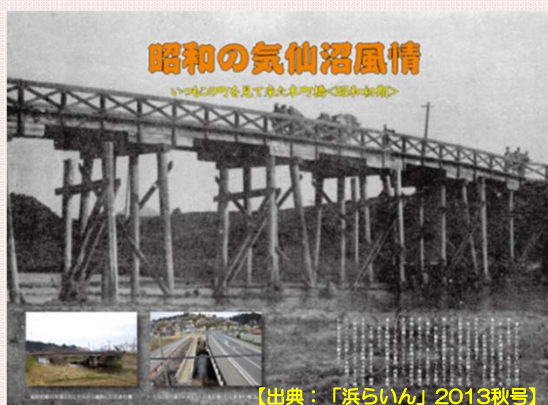


◇ 気仙沼唐桑線 本町橋架換事業が完成をむかえます

本町橋は、昭和9年の供用から80年余りが経過し、老朽化及び幅員狭小のため、早期整備が望まれていました。そこで、二級河川大川の狭隘部解消のための河川事業と共同で事業を進め、平成25年2月に新橋の供用を開始しました。その後、旧橋撤去及び護岸工事を行い、本年3月に事業が完了するはこびとなりました。

本町橋は、気仙沼市街地を貫流する大川に架かる橋で、2代日本町橋の撤去開始前にはお別れ会が開催されるなど、近隣住民はもとより広く気仙沼市民に親しまれてきました。

今回は、昭和初期以前の初代本町橋、昭和9年建設の二代日本町橋及び、平成25年供用の三代日本町橋の姿を掲げ、橋梁の変遷を示します。



【大正時代建設の初代本町橋】
写真は昭和初期の写真で、荷車が往来しているのが、確認出来ます。



【昭和9年建設の二代日本町橋】
大川が水位周知河川に指定され、橋脚に警戒水位等の標示を設置しました。



【平成25年2月に供用した三代日本町橋】
平成25年2月14日の開通式当日には、多数の方々にお集まり頂き、開通を祝福して頂きました。

◇ 気仙沼市「海の市」で情報発信を始めました

気仙沼土木事務所では、災害復旧事業や復興まちづくり事業の進捗状況などについて、イオン気仙沼店などに情報紙を設置し、幅広く情報発信を行っています。昨年11月からは、気仙沼市の観光拠点である「海の市」での情報発信も開始しました。

「海の市」設置状況

※イベント開催時等は、マガジンラックが移動する場合がございます。



◇ 大島架橋事業において道路改良工事を進めています

震災復興のシンボルである「大島架橋事業」については、昨年、5本のトンネル全てが貫通するとともに、11月15日には大島架橋本体工事の着工式を大島側の架橋位置で開催し、トンネルなどの施設名称も披露されました。

これら、橋梁、トンネル工事とともに、沿線で計画されている防災集団移転促進事業と調整し、道路改良工事も鋭意進めています。そのうち、小々汐地区、梶ヶ浦地区へのアクセスを既に確保し、現在は、大浦地区及び浪板2地区へアクセスする区間の道路改良工事の進捗を図っています。

工事中は、ダンプトラックの通行等でご不便をお掛けしますが、引き続き、一般車両優先、安全第一で平成30年度完成を目指し工事を進めていきますので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



国土地理院長承認図(承認番号 平25東復第313号)を編集・加工しています。

復興実感年



復興の**花**を
咲かせよう
宮城県土木部

宮城県気仙沼土木事務所 企画担当チーム

TEL: 0226-22-2622

E-mail: ksdbk@pref.miyagi.jp

HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/>

※お気付きの点やご意見などがありましたら、何なりとご連絡下さい。

※今後とも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。